

対象国の条件: 母子継続ケアのマネジメント強化によりUHCを推進する希望がある国

研修コース番号: 201984908-J002

案件番号: 201984908

主分野課題: 保健医療/母子保健・リプロダクティブヘルス

副分野課題: 保健医療/保健医療システム

使用言語: 英語

案件概要

母子保健指標の改善は、SDGsの目標においても引き続きターゲットとされており、プライマリーヘルスケアにおける母子継続ケアに重点を置いたユニバーサルヘルスカバレッジ (UHC) の実現は、その目標の到達のために重要であるといえる。日本では、母子継続ケアがUHCの達成に貢献しており、その歩みと仕組みを国と地方自治体の施策や制度、法律をとおして学んだ上で、母子継続ケアのサービスの実施現場（医療施設や保健センター）を見学する。その後、母子継続ケアをUHCの枠組みに当てはめて整理を行い、自国のUHCに貢献する、実現可能な母子継続ケアを立案する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

- (1) UHCの概念と概論、グローバルな潮流も踏まえ、母子継続ケアの改善がどのようにUHC達成に貢献し得るか説明できる。
- (2) 自国における母子継続ケアの改善が自国におけるUHC達成の課題にどのように貢献するか明確にした上で、継続性・持続性のあるUHC/母子保健の政策・戦略・ガイドライン策定も含めた国・保健省としての総合的な取り組みへの提言案が取りまとめられる。
- (3) 自国において組織横断的な取り組みを始めるための活動計画を作成する。

【対象組織】

母子保健、UHCの責任を有する保健省、地方自治省、地方自治体

【対象人材】

母子保健及び関連するUHCに携わる国または地方の保健医療行政官及び関係省庁の行政官(母子保健、UHCにかかる行政官としての実務経験が3年以上の者)

【成果】

- (1) UHCの概念及び自国の取り組み課題を理解したうえで、UHC達成に向けて母子継続ケア改善がどのように貢献しうるかについての、日本並びにJICAが支援した開発途上国での取り組みを理解する。
- (2) UHC達成のために日本が実施している国民皆保険制度、母子保健システムの強化戦略等を理解し、母子継続ケアの課題と改善の方策について、UHCの枠組み (Finance, Service, Equity, Preparedness, Governance) を使って分析・検討する。
- (3) 単元目標 (1) (2) を踏まえ、研修員が各国における母子継続ケア及びUHC達成の優先課題を抽出し、母子継続ケアの改善及びその改善によるUHC達成にどのような貢献が想定されるかを含めた行動計画を作成する。

内 容

1. カントリーレポート発表、母子継続ケア、関連するUHCの課題/好事例の発表、情報共有、意見交換
2. 日本の母子継続ケアとUHCの概要と取り組みについて説明
3. 国・地方自治体の母子保健政策、保健業務等の紹介（現場における母子手帳の活用視察、地方自治体・医療施設における母子継続ケアの視察）
4. 提言案作成

※本研修では、KCCP「知識共創 (Knowledge Co-creation)」を促進するため、アクティブラーニングを取り入れています。

本邦研修期間	2020/1～2020/2
担当課題部	人間開発部
所管国内機関	JICA東京 (人間計画)
関係省庁	
実施年度	2017～2019

主要協力機関	ジョイセフ
特記事項及びホームページ	